

翔べ！松中生

令和3年度 第11号 3月1日発行

感謝の気持ち

校長 齋藤 明

厳しかった冬もようやく去り、昼間の暖かい日差しに春の訪れを感じる季節になりました。

さて、3年生は、2月24日・25日の県公立高校入試を終え、長かった「受験生」という立場からやっと一息入れることができました。今後は、3月15日の卒業証書授与式を控え、残り少ない中学校生活を仲間と共に充実した日々を過ごして欲しいと思います。

3月は「別れの季節」です。

今年度もコロナ禍ではありますが、3月15日には、第75回卒業証書授与式を教職員、全校生徒及び3年生の保護者様（1名）の参加で計画させていただきました。（感染状況により、変更もあります。）これは、3年間の集大成である卒業生の姿を全校生徒で称え、今までの感謝と感動を共有するからこそ、意義のある行事であると考えているからです。

今、1、2年生は、3送会に向けて3年生への感謝の気持ちを伝えようと心を込めて準備を進めているところです。そして、卒業式当日には、先輩達の門出を祝うために最高の準備をしてくれることと思います。

そして、3年生は、卒業式で義務教育9年間の締めくくりとして、共に学び合った仲間や支えてくれた後輩達、いつも一番近くで寄り添い、見守ってくれた保護者の方に、自らの成長した姿を「感謝」という思いで、きっと伝えてくれる事と信じています。

「別れ」は、卒業式だけでなく、1、2年生にも修了式があります。この「別れ」で大切にしたいことは、「おかげさまで」という謙虚な心と「ありがとう」という感謝の気持ちだと思います。日常の私たちは、家族や友人、地域の方など様々な有り難い「おかげ」をいっぱいいただいて生きています。あまりに日常過ぎて、「当たり前」で済ましてしまっていることも多いかもしれません。3月という「別れの季節」だからこそ、自分の周りをよく見て、感じ、行動して欲しいのです。

卒業生のみなさんは、中学校生活での3年間、仲間を認め大切にしながら学習や部活動、学校行事に一生懸命取り組んでくれました。卒業式では、自分自身に誇りを持ち、全身全霊で臨んでください。1、2年生の後輩達は、きっと格好いい先輩達に感動し、先輩達の築き上げた伝統をきっと伝承してくれると思います。卒業しても皆さんの母校は松伏中です。いつまでも松伏中を愛し、忘れないでください。みなさんの夢の実現を応援しています。

1、2年生のみなさんも、この1年間で仲間と共にとても大きく成長できました。今後は、この成果に自信を深め、学年の締めくくりとして、令和3年度をしっかりと振り返り、令和4年度の準備としてまとめてください。新年度、更なる成長を期待しています。

最後に、保護者の皆様方におかれましては、本校の教育活動へのご理解ご協力をいただき、誠に感謝申し上げます。今後とも教職員一同、子どもたちの成長のため、一人一人に寄り添う指導に努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

